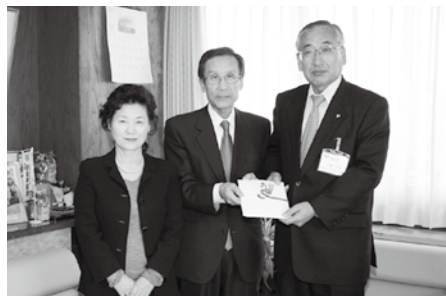


学校図書
の充実

セントラルフジイ(株)が 300万円を寄付

このほど、セントラルフジイ株式会社代表取締役の藤井宏次氏から、教育振興の一環として、水口地域の小・中学校の図書室の充実のために300万円を寄付いただきました。12月16日には、藤井氏ご夫妻が来庁、中嶋市長に目録と寄付金が手渡されました。ご厚意に対し、市長は、「教育の原点は人づくりです。いただいたご浄財に感謝いたします」とお礼を述べました。

いただいたご浄財は、貴重な財源として、次代を担う子どもたちのために、大切に使用させていただきます。



▲中嶋市長に目録を手渡す藤井氏夫妻

人権擁護委員に田中氏・竜王氏を再任

平成20年12月31日をもって、人権擁護委員の田中氏、竜王氏が任期を迎えられましたが、新たに法務大臣から委嘱を受けられ、1月1日から再任されました。

任期は、平成23年12月31日まで3年間はです。

今後も、市内の『人権・よろず相談』を中心に、「人権週間」における街頭啓発等、市内での人権擁護活動にご尽力いただきます。

人権に関わる悩みを抱えておられる方は、人権擁護委員にご相談ください。

●再任された人権擁護委員

田中 義人氏 (甲南町野川)
竜王 勝子氏 (土山町黒川)

問い合わせ

人権推進課 人権政策担当

☎055-06694 ☒03-45582



土山中男子が5年連続で出場 ~全国中学校駅伝大会~

わが国特有の駅伝文化を継承する機会として毎年開催されている全国中学校駅伝大会。

第16回を数えるこの大会に、土山中学校男子駅伝部が県代表として出場、師走の山口路を走破しました。

同校は、今回で5年連続5回目の出場という偉業を達成、全国大会でも常連校として、注目が集まっています。また、県内でも同じ中学校が5年連続で全国大会に出場するのは、同校が初めてという快挙です。

土山中学校は、市内でも比較的生徒数が少なく、選手もサッカー部員や野球部員の応援を受けての出場となり、生徒が一丸となり全国大会出場の切符を獲得したことになります。

全国大会は、12月21日に山口県セミナーパ

ク・クロスカントリーコースで行われました。関東や九州の強豪校がひしめくなか、同校の選手も健闘。結果は30位と昨年より順位を上げ、全国大会という舞台上、今まで応援してくれた友達や、地域の皆さんのあたたかい気持ちをタスキに託し駆け抜けました。



▲全国の舞台上走り終え、中嶋市長からねぎらいを受ける土山中選手の皆さん